

## 第13回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

平成30年2月22日（木）に第13回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院新中央診療棟 1階多目的室 1で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、附属病院の職員の他にも、院外の医師、訪問看護師26名が参加されました。

当院の腫瘍センター吉野茂文副センター長より開会の挨拶があり、当院の宮内貴子副看護師長を司会として、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

### 事例：「人生最後に自宅で整理を行うことを希望された大腸がん事例」

山口大学医学部附属病院 第2外科 田中宏典先生  
訪問看護ステーション白鳥 正司和江先生

グループ討議では、様々な視点から活発に意見が出され、終了後のアンケートでは、「在宅の看護について分かり、支えていることが分かりました。」「訪問看護のスタッフの方々、大学の先生、教員、医師など様々なスタッフと話ができて良かった。視野が広がりました。」などの意見が寄せられ、有意義な検討会となり無事終了することができました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 《検討会風景》



